

公益社団法人三州倶楽部  
第5回特別委員会会議録

日時	平成28年5月6日(月) 15時30分～17時
出席者	本田会長、上野座長、小森座長代理、藺牟田委員、大江委員、川人委員、神田委員、畠山委員、浜岡委員、牧之内委員、松元委員、久保監事 新徳監事 事務局 宮本
議題	特別委員会各ワーキンググループ(WG)の進捗状況等
配付資料	育英事業WG、会員増強WG、地方創生WG及び国際提携WG報告書
検討内容 各委員説明・発言	<p>1. 財政問題 WG (神田 WG ヘッド説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・賛助会員とは別に会員経営の企業からの支援並びに単位県人会や同窓会に会館利用のインセンティブを与えて協力会員(仮称)になっていただくことはどうか。⇒(会員増強WG 検討事項)</li> <li>・会員高齢化により80歳以上の会費減免の見直しが必要。</li> <li>・会員維持のために会員が何らかの倶楽部の組織に入り活動することにより、倶楽部への参加意識を醸成するのはどうか。</li> <li>・育英基金は積立てて以来ずっとそのままになっており、流動化させて育英事業に活用すべきではないか。⇒(育英事業WG 検討事項)</li> <li>・資金運用方法の見直しや会費の口座振替は財政問題WGで検討。</li> <li>・他のWGの検討状況等も踏まえて、財政問題WGの成案を得る。</li> </ul> <p>(主な発言等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・鹿児島懇談会(部会)の運営活性化策は、鹿児島担当理事及び会員の要望を聞いた方がよい。</li> <li>・育英基金の取扱いは、以前理事会で議論されたことであるが、育英事業WGにおいて今後の事業のあり方を検討する中で再度検討する。</li> <li>・経費の効率化はないか。⇒平成27年度改善効果がありさらに努力する。</li> </ul> <p>2. 育英事業 WG (畠山 WG ヘッド説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・奨学金制度は既に多様な制度が充実しており、当倶楽部が行う育英事業は学校への講師派遣等人的的支援の方向で検討していく。</li> <li>・冠講座(寄附講座)も可能との回答を鹿大から得ている。その他杉並区和田中学校及び指宿高校の成功事例を鹿児島に展開する支援ができないか。</li> </ul>

	<p>3. 会員増強 WG (川人 WG ヘッド説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アンケート等を踏まえた検討課題は、①会員のバランスのとれた年齢構成を目指す準会員制度導入、②魅力ある事業計画、③会員への情報伝達のあり方、例えば DVD 活用等。</li> <li>・賛助会員増強策は今後検討する。</li> <li>・5月から課題の取り纏めに入り9月までに成案を得る。</li> </ul> <p>(主な発言等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入会資格（血縁、地縁）の取扱いも課題⇒検討する</li> <li>・会員への事業活動の伝達手段は、会報以外に DVD 等動画によることも有効であり予算が前提となるが検討が必要。</li> </ul> <p>4. 地方創生 WG      資料配付のみ</p> <p>5. 国際提携 WG (浜岡 WG ヘッド説明)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・世界鹿児島県人会開催準備委員会の設立趣意書（案）を説明 組織：全国鹿児島県人会、鹿児島県、鹿児島市、三州倶楽部 行事：鹿児島市で開催。東京でウェルカムパーティ 開催時期：2018年9月</li> </ul> <p>(主な発言等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・準備委員会委員長候補は岩崎芳太郎氏とする。準備委員会で実行委員会組織を検討。</li> </ul> <p>6. その他 (会長発言) 100周年特別委員会は、100周年が終わるまで現理事で引き続き担当してもらいたい。 (座長発言) 特別委員会は1年間で成案を得ることで議論をスタート、本年9月末までに特別委員会の結論を取り纏め、その結果を其々所管する機関に預け具体化してもらおう。</p>
日 程	今後の特別委員会日程 6月15日、7月20日、8月31日、9月28日 何れも水曜日の17時開催